

世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を紹介する紙芝居を 多言語で世界に発信

北海道函館市の「縄文DOHNAN（どうなん）プロジェクト」（以下、「DOHNANプロジェクト」という。）が、縄文文化を紹介する紙芝居「縄文紙芝居」の多言語化に取り組んでいます。

「DOHNANプロジェクト」は、令和元年に設立した産学官民の有志の団体で、「縄文の心」で人とまちをつなぐをテーマに、楽しみながら縄文の魅力を伝えることと、縄文を通じた地域づくりを目指しています。

「縄文紙芝居」は、令和3年7月に世界文化遺産登録された函館市の大船・垣ノ島の両遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の機運醸成のため、北海道中小企業家同友会函館支部道南観光研究会が製作したオリジナルの紙芝居です。1組12ページの読み語り形式で、縄文時代の衣食住や宗教観に関することを、北海道内唯一の国宝である「中空土偶」をモチーフにした応援キャラクター「カックー」が紹介しています。愛着が湧くイ



ラストは函館在住のイラストレーター「なつき45」さんが優しいタッチで描いています。

当初は日本語版のみでしたが、内容が分かりやすく年代を問わず楽しめるものであることから、海外の人にも広く縄文を伝えて遺跡を訪れてもらえるようにと多言語化が企画されました。

日本語の他、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、アラビア語の6言語に対応し、世界に向けて縄文を発信して

いくプロジェクトにご賛同いただいた多くの方の協力を得て完成しています。（地元ケーブルテレビ局の「NCV函館ンセンター」が作成協力、市内の学生・留学生・教員・函館にゆかりのある海外在住の方が翻訳や吹替協力をしてくださいました。）

現在、多言語版は「NCV函館センター」のケーブルテレビ番組で放送しており、今後は、同センターの動画投稿サイト「ユーチューブ」アカウントでも配信を予定しています。

今後について「DOHNANプロジェクト」の山田代表は、「縄文時代は、今、世界で目標としているSDGsの生活を1万年続けてきました。今後も『縄文紙芝居』の多言語化を進め、世界に縄文を発信するお手伝いしていきたい。」と話しています。

日本語版の「縄文紙芝居」は、以下のURLから視聴できます。

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=6prb55022eA>

英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、アラビア語版は、以下のURLから配信予定です。

URL : <https://www.youtube.com/user/NcvHakodate?app=desktop>

（「NCV函館センター」アカウント）



問い合わせ先

縄文DOHNANプロジェクト

電話 : 0138-56-7556 (山田総合設計 (株) 内)

URL:

<https://m.facebook.com/%E7%B8%84%E6%96%87DOHNAN%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88-102828507751814>